

## 学校における LGBT/SOGI の取組について

LGBT層に該当する方の割合は8.9%となっています。(2018年「電通ダイバーシティ・ラボ」調べ)左利きの方や、AB型の方の割合とほぼ同じ割合です。教室に30人の子どもたちがいるとすれば2～3名の子どもが、性的違和を感じているということになります。性の多様性についての学びは、私たちの固定観念を問い直すだけでなく、生きる道を広げることにもつながります。そのため、自分自身を含む「性の多様性」について学ぶということが求められています。

### 1 現在の状況

#### (1) 中学校における男女別制服について

男子	女子	校数	女子スラックス	平均価格
詰襟学生服	セーラー服	3校	0校	40,430円
詰襟学生服	ブレザー	5校	1校(予定)	46,250円
ブレザー	ブレザー	5校	1校	49,541円

※女子スラックス導入済:錦城中学校 令和2年度導入予定:江井島中学校

#### (2) 小中学校における男女混合名簿の使用について

校種	状況	校数
小学校 明石養護	使用している	27校
	使用していない	2校
中学校	使用している	0校
	使用していない	13校

### 2 課題と今後の取組

#### (1) 課題

- ・ユニセックスな制服にするためには全面的な変更が必要になり経済的な負担がある。
- ・女子のスラックスは男子のスラックスより割高である。

(参考A校 女子 冬用 12,630円 夏用 12,020円 男子 冬用 12,220円 夏用 11,430円)

#### (2) 今後の取組

- ・人権感覚を醸成する取組  
2020年度版指導の手引きの中でのLGBT/SOGIの啓発ページを作成する。
- ・小・中学校長会でのLGBT/SOGIの啓発(2020年2月実施予定)。
- ・「特別の教科 道徳」、保健体育の授業の中でLGBT/SOGIについて啓発をしていく。
- ・中学校における制服については、学校の実態をふまえ、生徒が主体的に話し合うとともに保護者を含めた話し合いをはじめていく。また、すでにスラックスの選択ができる学校もあり、学校間での情報交換を積極的に行っていく。
- ・2020年度全市立学校園での男女混合名簿の導入。